

キックオフワークショップ グループ討論のまとめ

グループ	担当地域	地域・施設の特徴	平成 22 年度活動のアイデア	平成 22 年度活動に向けた調整の予定
A	昭和区 桜山商店街	・学生 아이디어により、商店街を活性化してきた経緯がある。 実際名市大経済学部生、芸工生が参加している。年間 100 万円の予算がある。 ・年一回の祭り ・クリスマスのイルミネーションを学生がやっている。 ・学生、消費者など第三者による商店街の店舗審査(審査に通れば優良店舗としてのシンボルマークをデザインした認証状が贈られる。)	・桜山を楽しむ会に出席 ・学生と商店街の人々との情報相互交換を行う。 ・商店街の祭りに何らかの形で参加 ・商店街の人々と話し合い、リクエストとして考えられるものについて参加していく。 ニーズに応えることも一つの考え	・桜山(商店街)を楽しむ会に(12 月中)メンバー全員で(できれば)出席し、商店街のことをまず知ること。そこから先のことは今の段階では未定
B	向陽高校	・向陽高校 ・桜山中学 ・松栄小学校	・資料をみせる(こんなことをしているとあんな事になるというようなこわくなるもの)。 →タバコ、朝食抜き、夜更かし、性問題、精神問題 ・手指衛生指導(手洗い)	
C	名古屋昭和区社会福祉協議会	・地域づくりを行う機関 ・具体的にはデイサービスの運営、また他の事務所への連絡等 ・様々な福祉活動の援助	・未定(担当者と連絡を取った上で決定) ・12 月中に連絡・計画作りを行う予定	・担当者に連絡、アポをとり、できれば春休みくらいに、社会福祉協議会へ伺う。
D	渥美病院	・渥美半島における唯一の総合病院、316 床 ・救急部門を持つ。また、近隣の老人保健施設“あつみの郷”と連携し、介護にも大きく貢献している。	・老人保健施設“あつみの郷”での業務・行事体験 ・渥美病院の連携協力施設である“あつみの郷”にて、日常の業務やレクリエーション業務(行事)を体験させて頂き、介護の実際を学ぶと共に、学生の視点から隠れたニーズを発見する。	・活動日程(主に春休み中)の決定 ・訪問施設の事前見学
E	豊川市民病院(豊川市内の福祉施設等)	・担当地域:豊川市 ・担当施設:豊川市民病院などの豊川市内の脳神経疾患治療施設(福祉施設)	・豊川市における脳神経疾患の治療は急性期治療、回復期治療、在宅介護を異なる機関で行うという連携から成っている。より円滑かつ、良質な医療を目指すため、新しい連携形態を学生としての視点で提示していく。	・12 月 19 日名市大病院での豊川市民病院の 4、5 年生への説明会への参加 ・冬休みや春休みを利用して、豊川市を実際に訪問し、医療現場を見学する。
F	桜山中学校	桜山中学校	・性教育、性感染症 ・タバコ ・飲酒 ・いじめからくる精神的ダメージ ・手指衛生 ・朝食抜き ・夜更かし、睡眠不足 ・BLS	
G	菰野厚生病院	・JA 三重厚生連:菰野厚生病院 ・特色として、急性期～慢性期、在宅などを行う地域密着型の病院	・地域と病院の関わり 〈特に回復期〉 ・医療従事者が多く関わっている回復期の医療に参加し、どのようにいろいろな職種の人に関わっているかを見聞きする。	・個人的に連絡を取り、日程を決め、決められた日程において見学、参加させていただき、それらを学生で集まり、まとめる。
H	松栄小学校	・松栄小学校	・食生活の見直し →料理講座、給食 ・運動→実際に遊ぶ。 けがの指導 ・性問題→実践、教育(パワーポイントなどを使って)	

			・手指衛生指導 →アルコール剤も。スタンプラリーなど ・年明けにアポをとりに行く。	
I	豊根村	[精神保健福祉施設] ・法的な規則、どうにもならない現状→地域連携が大切 <自殺> 行政の自殺対策は不透明 →市民の目にどう映っているのか…。 家族も含めたサポートの仕方を検討 <引きこもり> 中年以上が多い。 学生の目にどう映っているのか…。若い視点から [豊根村] ・人口減、過疎化、高齢化 ・高齢者→家から出ない、人との会話も少ない。 ・“一生現役”いきいき事業に力を入れている。 [社会福祉協議会] ・ケアマネージャー、デイサービス不足の問題 ・高齢者、障害者の方へのサービス提供 ・退院後どうやって地域で暮らしていくのか。病院で提供できないケアのサポート	・高齢者、障害者が地域でどう暮らしていくか。 ・高齢者の方のお話を聞く。コミュニケーション、会話の機会を増やす。 - 話し相手になる。(悩みを聞いてもらえない人も多い) ・その中で健康指導、食事指導、健康チェックをしていく。 - 村の方々の集まりへ参加する。 ・ボランティア ・医療の確保→村づくりのベース ・医療・教育・衣食住 3 つの達成が大切 ・食事健康指導、健康チェック ・介護が必要とならないようにデイサービスを行う。 →いきいき事業。介護認定を受ける前の元気な方対象	・村役場、社会福祉協議会への連絡→紹介を受けて参加 ・村の企画 ・春休み中の来村を検討
J	蒲郡市民病院	・イベントとして地域交流（市民病院がほとんど仕切る） ・夏祭り ・健康祭り(公会堂で 1000 人規模) ・地域依存率 90%、入院率 ・キーパーソン ・地域にもメッセージ ・2、3 カ月に一回健康講座	・5、6 月の講座 →500～100 人の人が集まるので、アンケートをする。 - 何らかの形で集まろう。 ・8 月の夏祭り	・学生グループで話し合い ・2 月には一度現地へ行く。
K	篠島(知多厚生病院)	・診療所へ知多厚生病院から医師を派遣 ・産業の中心は漁業、観光 ・診療所は週に 3 回 ・診療所では対応できない場合や、休診日は本土へ。	・診療所に来る人だけでなく、来ていない人に対してもアンケート調査を行なう。 ・訪問看護、介護、リハビリを見学する。 ・漁、市場を見学する。 ・祇園祭り、おんべ鯛に関する行事に参加する(来年)。 ・小・中学校訪問(来年)	・2 月上旬：訪問看護、介護、リハビリを見学する。 ・2～3 月(漁の時期にあわせて) 漁、市場の見学と診療所に来る人、来ていない人に対し、アンケート調査を行なう。 ・アンケートのまとめ
L	いなべ総合病院	・三重県は乳がん検診率全国 43 位、胃がんは 42 位と検診率が低く、いなべ総合病院では啓蒙活動を積極的に行っている。	・アンケート活動の継続、講演の開催 ・他の検診率を上げるための方法の模索	・アンケートをより多くの人々(目標はいなべ市の 30 代以上の女性全員)に広げる。
M	日間賀島(知多厚生病院)	日間賀島について ・船で 10 分くらい ・人口 2000 人位 ・漁業が主 ・診療所の医師は知多厚生病院から派遣されている。 ・診療日は週 3 回 →患者は 1 日 50 人程度。 知多厚生病院について	・日間賀島を調べる。 ・地域(離島)医療の体験 ・訪問介護の見学	・がん患者の集いに参加する。 ・在宅医療について調べる。 ・島民の人たちを対象として、医療の満足度をアンケート調査する。

		・ベッド数:260 床ほど ・在宅医療あり ・公的医療 ・高度医療 ・コミュニケーション医療		
N	大同病院	・大同病院 →呼吸器科、結核別棟に隔離 されている。 ・保健所 →自宅で療養されている結核 患者の状態を確認する。	・病院、保健所等、結核の治療に関わる各機関の調査	・平日(水曜日)の朝、保健所、午後からは病院の見学、及び会議への参加 ・見学においての発見などをグループ内に報告 - 改善点があれば、皆で話し合い、新たなシステムの提案を行う。
O	足助病院	・地域に開かれた病院 →・小中学生のボランティアの受け入れ ・高校生がバスを待つ場になっている。 ・バスが走っていて、高校、スーパーが近隣にある。	・美大生と対談する。(美大生は院内で活動中) ・足助村塾、出前講座、訪問看護、デイサービスへの協力、または、そういった場でのニーズを探る。	・病院の見学に行く。(日時は調整中)
P	知多厚生病院	・知多厚生病院 →・地域医療の拠点として福祉連携センター、救急医療など、地元と連携している。 →・篠島 人口 1800 人程度。 診療所による健康管理。 時間外、重病の場合はフェリーによる移送 →・日間賀島 人口 2000 人弱 個人の先生による診療所がある。(週 3 回非常勤)	・地域医療、福祉連携センターの見学 ・地域の人に向けた医療講座の見学 ・コールセンターの見学(来年 1 月から) ・訪問介護、看護の見学(どのような連携をしているか?) ・M グループ(日間賀島)、K グループ(篠島)とも地域の内容などで重なる部分があれば協同で動いていく。	・2 月上旬に活動のアイディアを出し合い、報告書にまとめる。
Q	瑞穂区汐路小学校区	〈汐路学区〉 ・町は自分たちで守る。 →薬物乱用防止キャンペーン(春、夏)、パトロール、ごみ拾い、老人会、ニチイ民間福祉施設運営委員会、民生事業、桜祭り、TEAR、AED 勉強会、商店街活性化(山崎川)など 〈御劔学区〉 ・地域の安心安全まちづくり →防犯、交通安全、区政協力委員会、28 人町内会、行政と地域のパイプ役、毎月区役所で会合など	・社会みんなで何かできないか → まず知ること。地域のイベントに参加 → 助け合いネットワーク(災害時に家屋破損した時、安否確認が難しい) ・傾聴ボランティア…悩みを聞いてみる。 ・山崎川清掃 日曜日朝 7 時～ ・2 月 7 日 AED 講習	・スケジュール調整
R	瑞穂区御劔小学校区	・防犯・防災(火の用心)区役所の仕事を地域に伝える。 ・独居老人とのふれあい→孤独死をなくす→300 世帯の独居、350 世帯の老夫婦 ・虐待された子供や DV 被害者のケア ・子育てサロン(幼児検診・妊婦さんの心のケア) ・商店街活性化→100 店くらい減った。 ・山崎川に住む鳥の保護のための清掃 ・AED の講習 ・薬物防止キャンペーン ・ごみ拾い	・商店街盛り上げる よさこい祭り 七夕祭り ・2/7AED 講習会 ・障害者との傾聴ボランティア ・孤独な子供や老人との交流 独居老人との給食会に参加(毎月第三木曜日) 子育てサロンに参加(第 2、4 木曜日)	・予定を送って頂く。
S	NTT 西日本東海病院	・企業立病院として、健康診断などが特徴的 ・整形外科に特化	・健康講座の企画 ・病院見学	・病院に行く。(冬休み)

T	上矢作病院	・岐阜県恵那市に位置し、山岳に囲まれた自然の豊かな地域である。 ・12 の診療所があり、現在 4 人の常勤医、8 人の非常勤医で外来を行っている。 ・無料の送迎バスを運営し、また、出張講義など地域の方々との交流も行っている。	・具体的にはまだないが、調査をしていく中で問題点を見つけて参加できそうな活動を提案したいと考えている。	・上矢作町という地域を知る →・無料送迎バスに乗ってみる。 ・アンケートやインタビューを行う。 ・実際に行われている行事の見学、調査をする。
U	尾西病院	・精神科のデイケア ・介護施設 ・訪問介護の実施 ・ヘルパーステーション ・統括管理	・健康セミナーにおける企画及び実施 ・糖尿病教室 ・精神科でのデイケア ・病院内の見学 ・訪問介護	・精神科でのデイケアの見学・参加
V	旭労災病院	・発達障害の子どもたち、親の支援をする。 →発達支援室の設置 ・通学、通園先に生徒、児童への接し方の指導 ・糖尿病患者の方の家庭環境を考慮したケア	・小児科及び、糖尿病患者の背景調査 ・それに伴う問題提起とその解決法	
W	名古屋市精神保健福祉センター	・精神保健に関する仕事は医療の側面が強かったが、実は多様な側面がある。 ・担当地域は名古屋市全体 ・大きな問題点は自殺と引きこもりで自殺に大きな予算が使われている。 ・幅広く活動しているがなかなか市民に伝わっていない。	・自殺、引きこもりは内容が深刻だし、具体的にどんな活動を行っているのかイメージがわからない。 ・センターが企画するイベントに参加して、今後の活動のイメージをつかむ。 →1 月の昭和区の障害者卓球大会など	・1 年生に教え、伝えられるように自分たちが頑張る。
X	瑞穂通商店街	・博物館がランドマーク ・6 月に陶芸会 ・コーラスは？ ・8 月に博物館で夏祭り、盆踊り ・大須の芸人 ・血圧はかる。 ・アンケート	・6 月にコーラスに参加し、そこで親睦を深める。 ・8 月の夏祭りにブース等で参加・医療型のお店(薬草入りの食べ物関係)を出して、お客さんに実際に体験してもらう。(成分効能を考えた上、食べ合わせ、黒ウーロン茶のような) ・12 月に元気祭り 2009 に出店(内容は上と同様)	・日程を聞いて 1 月のコーラスの練習見学(土曜の夜に練習あり) ・大野さんの連絡先に電話をする。 ・8 月、12 月のイベントに関してはまだ先 ・コーラスに参加していくなかで、地域とコンタクトを取っていく。